

# 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記のとおり検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬白

記

■変更日 令和2年4月6日（月）受付分より

■変更項目 末梢血液像 自動機械法（項目コード：2201）  
 鏡検法（項目コード：2201+2292） } ※検査案内 p136  
 活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT） ※検査案内 p138  
 （項目コード：2104）

■変更内容

検査項目	変更箇所	新	旧	変更理由
2201（自動機械法）  末梢血液像	基準範囲	% Baso 0.0～2.5 Mono 2.0～10.0 Eosino 0.0～8.5 Lympho 16.5～49.5 Neutro 38.5～80.5 Stab 0.5～6.5 Seg 38.0～74.0  ※絶対数の基準範囲には該当しません。	% Baso 0.0～1.0 Mono 4.0～7.0 Eosino 1.0～5.0 Lympho 25.0～45.0 Neutro 48.0～61.0 Stab 3.0～6.0 Seg 45.0～55.0	共用基準範囲に変更
2201+2292（鏡検法）				
2104  活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）	基準範囲	23.0～38.1秒	26.9～38.1秒	基準範囲を自社算出値に変更および報告下限値を変更
	報告下限値	22.9秒以下	23.0秒以下	

以上

\*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション  
 2020-A-005